PART2 使役形

二 使役形

① 基本…助動詞を使ったもの

S　使・令・遣・教・俾 三 N　V 二 O 一

S＝主語
N＝使役の対象。助動詞の**直下**の名詞（人が多い）。
V＝動作
O＝動作の目的

〈読〉＝SN**ヲシテ**O{ヲ／ニ}Vしム

＊ **N（助動詞の直下の名詞）には「をして」の送り仮名を必ず送る。**
＊ **V**は**未然形**に活用させる。

〈訳〉＝SはN{に命じて／をつかわして／に／を}O{を／に}Vさせる。

（例）王使人求之。（　　　　）（　　　　）

＊ SNVOは全てがそろっているとは限らないので、まずSNVOのうちのどれがあるか確認すること。（Vの部分は絶対に省略されない。**→まずVを探す。**）

【例題一】 次の「**使**」以外の各漢字の右横に、文の要素（S、N、V、O）の該当するものを書け。

(1) 王**使**臣書文。

(2) 王**使**臣書。

(3) 王**使**書文。

(4) **使**書。

＊ Vが二つ以上ある場合、使役がどこまでかかるか文脈判断する必要があるので注意！

（例）王使臣書文読之。

王使(二)臣書(一レ)文読(レ)之。

王使(二)臣書(レ)文読(一レ)之。

② 使役を暗示する動詞を使ったもの

命ジテ
令シテ
召シテ
勧メテ
教ヘテ
遣ハシテ
説キテ

} 〜 V（シム）

禁ジテ
戒メテ

} 〜 不（レ） V（ラシム）

③ 本文中の他の箇所において、同一漢字の送り仮名に「シム」がついているときは注意。

問十　「王大イニ怒リ、使人殺中射之士。」の傍線部を書き下せ。

注　中射之士…宮中宿衛に当たる武官の侍従。

問十一　次の文を、返り点に則して、書き下し文に直せ。

妻使下妾挙二薬酒一進上之。

注　妾…下女。

薬酒…毒薬を入れた酒。

＊進…サ変動詞「進ず」

問十二　次の文を「相(しやう)をしてこれを聘(へい)せしむ」と読めるように、返り点をつけよ（送り仮名は不要）。

使相聘焉。

問十三　次の文は「子どもに金を持たせ、つぼをぶら下げて酒屋に行き酒を買ってこさせる」という意味である。これに基づいて返り点をつけよ。ただし送り仮名はつける必要は無い。

令 孺 子 懐 銭 挈 壺 甕 而 往 酤 。

注　孺子…子ども。
挈…ひっさげる。
壺甕…酒を入れるつぼ。
酤…ここでは「買う」。文脈によって「うる」とも「かう」とも読む。

問十四　「使 公 以 馬 殺 人」をすべてひらがなで書き下せ（現代仮名遣いでよい）。

注　公…斉の君主、景公（けいこう）。

問十五　「使二汝 不レ死二於 人 之 手一。」をひらがなのみを用いて書き下せ（現代仮名遣いでよい）。

〈Memo〉

第２講　PART2　確認問題

①　「使二相償レ之。」は「相（しやう）（「宰相」の意）の手で銭を弁償させようとした。」という意味である。どのように読むのが正しいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　相をして之を償ふ。
イ　相をして之を償はしむ。
ウ　相をして之を償ふべし。
エ　相を使ひて之を償はしむ。

②　「四面の騎（き）をして馳（は）せ下らしめ、…」と読むには、返り点をどのようにつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　令二四面騎馳下一、…
イ　令二四面騎馳レ下、…
ウ　令三四面騎二馳レ下、…
エ　令二四面騎レ馳下、…

③「鯀(こん)をして之(これ)を治(をさ)めしむ。」と読むには、返り点をどのようにつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。

注　鯀…人名。

ア　使レ鯀レ治レ之。
イ　使二鯀治一レ之。
ウ　使二鯀治之一。
エ　使二鯀レ治之一。

④「使二一年一度相会一。」をひらがなで書き下した文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いちねんにいちどあひくわいつかはしむ。
イ　いちねんにいちどあひくわいつかはす。
ウ　いちねんにいちどあひくわいすしむ。
エ　いちねんにいちどあひくわいせしむ。

⑤「責令レ帰二河東(かとう)一、…」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　河東…川の東側。

ア　河東に帰らしめよと責め、…
イ　責めて河東は帰らしめんと、…
ウ　責めて河東に帰らしめ、…
エ　責めて河東を帰れしめ、…

第２講　PART２　解答

二　①〔王人をして之を求めしむ。〕（王は人にこれを求めさせる。）

問十　人をして中射の士を殺さしむ

問十一　妻妾をして薬酒を挙げ（て）之を進ぜしむ。

問十二　使㆓相聘㆒㆑焉。

問十三　令㆘孺子懐㆑銭挈㆓壺甕㆒而往酤㆖。

問十四　こうをしてうまをもってひとをころさしむ

問十五　なんじ〔ぢ〕をしてひとのてにしせざらしむ。

第2講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 訳から、「使」を使役の助動詞「しム」と読むことがわかる。その下を見て、動詞を探すと「償」が動詞。よって、「使」と「償」の間にある「相」が使役の対象で、送り仮名は「をして」。よって、イが正解。

② 返り点のついている順に読んで読み方が同じになるものを探す。「令」は使役の助動詞で「しム」と読む。問題文では連用形になっているため、読み方は「しメ」となる。「四面騎馳下」に当たる書き下し文を見ると、「四面の騎(き)をして馳(は)せ下ら」となっているので、この部分はひとまとまりで読むとわかる。よって、アが正解。

③ 返り点のついている順に読んで読み方が同じになるものを探す。「使」は使役の助動詞で「しム」と読むことから、「治めしむ」と読むためには「治」の直後に「使」を読むように返り点を打つ必要がある。よって、イが正解。

④ 使役の助動詞「使」は「しム」と読み、「使Ｖ」のＶ（＝動作）は未然形となる。Ｖに当たる「相会」は、サ行変格活用「相会(あひくわい)す」の未然形「相会せ」となるので、ひらがなにすると「あひくわいせしむ」となる。よって、エが正解。

⑤ まず返り点のついている順に読むと、「責」を最後にしているアは除外できる。「令レ帰二河東一」の部分は、令レＶ二Ｏ一（Ｖ＝動作　Ｏ＝動作の目的）の形。読み方は、「Ｏニ（ヲ）Ｖしム（問題文では連用形なので「しメ」）」となる。また、Ｖの活用は未然形。書き下すと「河東に帰らしめ」となる。よって、ウが正解。

〔解答〕

①　イ

②　ア

③　イ

④　エ

⑤　ウ